

2022年6月3日

2022年度 小・中学生

「いのち」の作文コンクール 開催のお知らせ

“あなたにとっての「いのち」”をテーマにした作文を募集

公益財団法人JR西日本あんしん社会財団は、2009年に設立して以降、「安全で安心できる社会づくり」の一端を担いたいという思いのもと、事業を展開してまいりました。

将来を担う子どもたちに、作文を通じていのちの大切さを考えていただくことにより、『いのち』を大切にする社会づくり」に少しでもつながればとの思いを込め、「小・中学生『いのち』の作文コンクール」を開催いたします。

連日「いのち」について考えさせられるニュースが伝えられています。また、その一方で普段の暮らしの中にも「いのち」に触れる様々な機会や出来事があると思います。是非この機会に、今年度で通算4回目となる本コンクールにご応募いただき、自らの想いや考えを作文にしてみたいはいかがでしょうか。

1. テーマ

あなたにとっての「いのち」

「いのち」の誕生の喜びや失った悲しみ、「生きる」ことの楽しさや辛さなど、さまざまな観点からの作品を募集します。

【テーマ例】

～身近な体験を通して感じた「いのち」～

- ・ 弟や妹が生まれた体験、自分や家族が病気になって入院した体験
- ・ ペットを育てたり、草花を栽培した体験

など

～本やテレビ、インターネットなどを通して感じた「いのち」～

- ・ いのちを守るために懸命に働いている人の姿
- ・ 病気や大きな災害など困難と闘いながら頑張っている人の姿
- ・ 世界の国々で戦争、紛争や貧困などに苦しんでいる人の姿

など

～さまざまな形の「いのち」～

- ・ 海や山の景色、太陽や夜空の星など、自然の中で感じた「いのち」
- ・ 人工知能やロボットなど、最新の科学技術の中で感じた「いのち」

など



2. 募集対象

近畿2府4県（滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県）に在住・在学の小・中学生

3. 募集期間

2022年7月1日（金）～9月8日（木） 当日消印有効

4. 応募方法

- ・ 学校単位での応募を基本とします。
- ・ 学校単位での応募がない場合は個人での応募も可能です。
- ・ 原稿用紙（400字詰め/枚）を使い、以下の枚数でご応募いただきます。

小学生1～4年生：1～2枚

小学生5～6年生：1～3枚

中学生：2～4枚

【参考】昨年度の応募総数 9,012 作品

5. 表彰

(1) 個人賞：入賞者に表彰状および副賞（図書カード）を贈呈します。

	いのちの作文大賞 (5万円分)	優秀賞 (1万円分)	入選 (3千円分)	計
小学1・2年生	1人	26人	70人程度	100人程度
小学3・4年生	1人			
小学5・6年生	1人			
中学生	1人			

※優秀賞受賞者の中から優れた作品や着想豊かな作品に「選考委員長賞」を若干名授与します。

※表彰式は優秀賞以上の受賞者にご案内いたします。

(2) 参加賞：応募者全員に贈呈します。

(3) 作品集：入賞者および学校単位で応募した学校に贈呈します。

6. 最終選考委員

選考委員長 重松 清 氏（作家）

選考副委員長 菊池 省三 氏（教育実践研究家）

委員 坂下 裕子 氏（こども遺族の会「小さないのち」代表）

丸川 征四郎氏（吹田徳洲会病院 顧問、近畿大学医学部客員教授）

※坂下氏、丸川氏は当財団理事

7. 広報物デザイン

永田 萌 氏（株式会社妖精村、京都市こどもみらい館 館長、姫路市立美術館 館長）

8. 主催

公益財団法人 J R 西日本あんしん社会財団

9. 協力

西日本旅客鉄道株式会社

10. 後援

滋賀県教育委員会、京都府教育委員会、京都市教育委員会、大阪府教育委員会、大阪市教育委員会、堺市教育委員会、兵庫県教育委員会、神戸市教育委員会、奈良県教育委員会、和歌山県教育委員会、読売新聞社、朝日新聞社、毎日新聞社、産経新聞社、神戸新聞社、京都新聞、大阪日日新聞、京都大学人と社会の未来研究院、大阪大学社会ソリューションイニシアティブ、公益社団法人 2025 年日本国際博覧会協会

11. その他

詳しくは当財団のホームページをご覧ください。

<https://www.jrw-relief-f.or.jp/seminar/sakubun2022/>

